

令和4年度

貸借対照表・正味財産増減計算書

及び財産目録等

公益財団法人 有隣会

事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年度、「語らい座 大原本邸」事業は、年初には新型コロナウイルス感染症による観光需要の減退の影響が残り、来館者数も低迷した。しかし7月以降においては、ワクチン接種の浸透等による感染症に対する対応方法、認識の変化に加え、国の「全国旅行支援」事業による追い風もあり、来館者数はコロナ前を上回る状況が続き、通年では平成30年の開館以来最多となった。

また教育支援事業として「くらしき未来K塾」を継続して実施するとともに、新たに小学生や新入社員等を対象とした「くらしき町家留学」を本格的に開始した。倉敷美観地区にある大原家関連施設とも連携し、大原家の事績を題材とした教育支援、人材育成事業となっている。

その他「大原孫三郎・総一郎記念講演会」「大原総一郎日記研究会」等の事業を予定どおり実施し、記念講演会は例年にも増しての盛況となった。

財務面においては、入館料、セミナー収益等の「語らい座大原本邸事業」収益が25,120千円となり、コロナ前の水準上回った(H31年度比+5,536千円)。その他会費、寄付金等を加えた経常収益(除、指定正味財産からの振替5,851千円)は56,915千円

一方、人件費(前期比△3,492千円)等経費削減に努め、R2年度の収入が課税基準を下回ったことから当年度の消費税負担がなかったことも加わり、経常費用は前期比△3,104千円の62,766千円となった。

結果、期末正味財産は12,323千円(前期比△5,851千円)となっている。なおCFは13,353千円を確保している。

主な活動は以下のとおり。

1. 語らい座 大原本邸事業

(1) 入館者数、入館料収入

<入館者数（有料）> (人)

合 計	一 般	高校生以下
38,465	37,053	1,412

新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなり、同時に国の全国旅行支援策が再開された結果、10月以降、観光客は急増し、当館の入館者数もコロナ前を大幅に超える状況が続いた。旅行支援クーポンを利用した入館者は2,000名を超える。

当期、倉敷市小学生、修学旅行生等の誘致による入館者数の拡大を目標とした。結果、「くらしき町家留学」への参加外、約800名の入館があった。数的にはまだまだの状況にはあるが、来期以降に期待できるものであった。

その他、近隣土産店での当館入館券の景品としての使用、また旅行会社の定期コースへの組入れ等もあり、当年度の入館者数は38,465人、また入館料収入も18,617千円と開館以来、最多となった。

<入館者数 推移> (人)

平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
33,360	32,140	16,670	16,734	38,465

なお、令和5年2月16日～20日、倉敷市による市内民間文化観光施設12施設の無料公開事業が実施され、倉敷美観地区も大変な賑わいとなった。同期間の当館(無料)入館者数は9,020名に上り、当館の知名度向上に役立った。

(2) 教育事業・教育プログラム

「語らい座」は、ここに集い、未来を「語らい」、互いに学び合うことで、訪れる人が新たな発想を得、内なる力・思いに気付く catalyzer (触媒) でありたいとの願いから名付けられた。「社会に開かれた学校」と、地域で活躍する企業、町に生きる一人一人とを繋ぐ「結節点」を目指し、「未来育て」支援のプログラムを提供するものである。

①くらしき未来K塾

今年度は人員減ということもあり、リアル・オンラインというハイブリッド形式での開催が難しく、リアル（会場参加）のみでの開催とした。加えて、感染症予防のための人数制限も行ったため、充実した講師陣にも関わらず、昨年より参加人数減となった。

なお、一部の回(下表*印)については、倉敷市高梁川流域未来人材育成事業の委託（「キャリア教育指導者育成セミナー」）として実施し、開催経費等の削減を図っている。

<くらしき未来K塾 開催状況>

回	開催日	テーマ（演題）	講師	参加人数
第30回	7/23	F-café&特別展 「大原美術館」セミナー	江森 真矢子氏 （一社）まなびと代表 北浦 菜緒氏 カンコーマナボネクスト(株) 原田 三郎氏 四天王寺大学教育学部准教授 水島 博 語り座大原本邸学芸員	16
第31回*	8/20	食農教育と異才発掘プロジェクト	福本 理恵氏 (株)SPACE 最高情熱責任者 CEO	22
第32回*	9/17	企業の「インナーマッスル」を鍛える インターンシップ	大川 哲郎氏 (株)大川印刷代表取締役社長	14
第33回*	10/22	地域と企業と高校と ～もう一歩進んだインターンシップ の創り方～	深谷 信介氏 ノートルダム清心女子大学 名古屋大学	12
第34回*	11/26	教育と観光地域づくりの未来	前田 芳男氏 東海大学 熊本キャンパス	11
第35回	12/17	【Xmas Special 企画】 お話とチェロ・ピアノのひととき	三船 文彰氏 ミフネ歯科医院院長 荒木 渉氏 ピアニスト	45
第36回	1/21	F-café&特別展 「大原家に残る書簡の数々」セミナー	江森 真矢子氏 （一社）まなびと代表 北浦 菜緒氏 カンコーマナボネクスト(株) 原田 三郎氏 四天王寺大学教育学部准教授 水島 博 語り座大原本邸 学芸員	15
合 計				135

②くらしき町家留学 ～共に学び、考え、語る、倉敷流儀の探究学習～

江戸時代、有力町人による高度な自治が行われ、大幅な営業の自由、村役人の選挙制度、「倉敷義倉」など、天領民主主義ともいべきシステムがあった倉敷。

その伝統を踏まえながら、大原家に関わり深い施設や建築・町並みなどでのフィールドワークを通して、大原家の思想・哲学、倉敷に残る町衆精神を学ぶ課題発見型学習（Project based learning）を企画し、体験・考察・振り返り・個別最適化などの実践により主体性・考察力、協働性・フォローシップ等の育成に貢献する。

<くらしき町家留学 実施状況> (人)

開催日	種別	名称	人数
4月7日	新入社員研修	(株)サムシングフォー	4
4月14日・21日	新入社員研修	(株)中国銀行	97
5月12日	新入社員研修	(株)岡山トヨタ	19
7月15日	研究者研修	大阪大学・広島大学・清心大学	5
10月4日	小学生研修	倉敷市立菌小学校	32
10月25日	新入社員研修	(株)第一生命	16
11月30日	小学生研修	岡山市立蛍明小学校	23
12月6日	小学生研修	倉敷市立倉敷東小学校	53
1月12日	小学生研修	神石インターナショナルスクール	13
1月26日	新入社員研修	(株)第一生命	16
3月14日	大学生研修	武蔵野美術大学・青山学院大学	20
合 計			298

(3) 特別展

次の4回の特別展を開催した。

第2回、第4回においては、特別展に合わせたセミナーを開始し、より深い内容での解説は参加者に好評であった。

第1回 5/17～5/29 大原孝四郎 展

第2回 7/12～7/31 大原美術館 展

第3回 10/18～10/30 大原壽恵子 展

第4回 1/17～1/29 大原家に残る書簡の数々 ～欧米留学生からの書簡～

2. 大原孫三郎・總一郎記念講演会

「第 66 回大原孫三郎・總一郎記念講演会」を次のとおり開催した。

著名な講師、また聴きやすい講演内容で、開催前から問い合わせが相次ぎ、当日は会場満員の盛況となった。

また、講演会の翌日には講師と倉敷、岡山の高校生のセッションを開催した。質問が続出する白熱した内容で、参加した高校生には各自の将来も考える有意義な時間となった。

日 時 令和 4 年 7 月 27 日(水) 18 : 30 ~ 20 : 00

場 所 倉敷公民館 大ホール

講 師 山極壽一氏 (総合地球環境学研究所所長)

演 題 「人類はどこで間違ったのか ~ゴリラの目でみたコロナ後の社会 ~」

3. 所蔵資料の整理、調査、研究及び公開

大原家が所蔵している大原孫三郎・總一郎に関する書簡・書籍など諸資料の分類整理を継続的に行っている。

本年度においては約 750 点の資料整理を行った。

4. 大原總一郎日記研究会

国土舘大学教授阿部武司氏を中心とする 7 名の研究者グループにより、大原總一郎日記 (全 100 冊) の研究を継続している。

本年度は 4 回の研究会を開催し、これまでの研究成果を含め、仮翻刻 大原總一郎日記 第 5 冊(日記 No,17~20)を製本、刊行した。

以上

*事業報告の附属明細書はありません。

貸借対照表

2023年3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	32,081,013	18,662,482	13,418,531
売掛金	284,080	47,980	236,100
商品	20,898	50,112	△ 29,214
未収金	0	769,560	△ 769,560
前払費用	0	40,000	△ 40,000
流動資産合計	32,385,991	19,570,134	12,815,857
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金(基本財産)	3,000,000	3,000,000	0
投資有価証券	0	0	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
土地	0	0	0
建物	112,939,134	119,686,147	△ 6,747,013
建物附属設備	48,550,676	55,548,943	△ 6,998,267
構築物	4,837,645	5,482,988	△ 645,343
機械及び装置	484,544	972,006	△ 487,462
器具及び備品	10,866,593	15,072,934	△ 4,206,341
商標権	469,840	563,808	△ 93,968
ソフトウェア	15,120	41,040	△ 25,920
その他固定資産合計	178,163,552	197,367,866	△ 19,204,314
固定資産合計	181,163,552	200,367,866	△ 19,204,314
資産合計	213,549,543	219,938,000	△ 6,388,457
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	193,031	249,392	△ 56,361
預り金	132,794	135,252	△ 2,458
未払消費税等	0	478,400	△ 478,400
流動負債合計	325,825	863,044	△ 537,219
2. 固定負債			
長期借入金	200,900,000	200,900,000	0
固定負債合計	200,900,000	200,900,000	0
負債合計	201,225,825	201,763,044	△ 537,219
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	9,176,932	15,028,170	△ 5,851,238
指定正味財産合計	12,176,932	18,028,170	△ 5,851,238
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	146,786	146,786	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	12,323,718	18,174,956	△ 5,851,238
負債及び正味財産合計	213,549,543	219,938,000	△ 6,388,457

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	4,090,000	4,090,000	0
特別会費	3,500,000	3,500,000	0
普通会費	200,000	200,000	0
賛助会費	390,000	390,000	0
事業収益	25,120,074	10,974,760	14,145,314
受取入館料	18,670,674	8,582,060	10,088,614
記念館事業収益	6,449,400	2,392,700	4,056,700
受取補助金等	7,594,838	24,842,804	△ 17,247,966
受取助成金	0	0	0
受取寄附金	25,950,000	25,615,850	334,150
雑収益	11,300	346,643	△ 335,343
受取利息	264	214	50
経常収益計	62,766,476	65,870,271	△ 3,103,795
(2) 経常費用			
事業費	60,466,787	63,473,926	△ 3,007,139
人件費	26,696,884	29,183,283	△ 2,486,399
法定福利費	2,485,327	3,046,404	△ 561,077
福利厚生費	645,121	1,089,426	△ 444,305
材料仕入	1,411,488	614,471	797,017
水光熱費	1,533,611	1,142,662	390,949
清掃費	504,548	176,550	327,998
修繕費	183,700	68,200	115,500
諸謝金	443,208	508,893	△ 65,685
旅費交通費	479,208	207,770	271,438
通信運搬費	451,771	419,323	32,448
印刷製本費	1,087,745	664,083	423,662
広報費	311,220	222,324	88,896
賃借料	397,200	478,800	△ 81,600
リース料	1,026,270	1,033,024	△ 6,754
消耗品費	907,615	845,062	62,553
諸会費	53,000	45,000	8,000
租税公課	2,179,960	3,464,800	△ 1,284,840
保険料	18,490	0	18,490
手数料	204,695	202,050	2,645
雑費	64,350	1,716	62,634
減価償却費	19,204,314	19,903,493	△ 699,179
会場関係費	103,290	90,860	12,430
接遇費	73,172	30,680	42,492
雑損失	600	35,052	△ 34,452
管理費	2,299,689	2,396,345	△ 96,656
通信運搬費	156,935	218,555	△ 61,620
会議費	3,420	8,292	△ 4,872
消耗品費	22,000	12,100	9,900
租税公課	1,580	1,560	20
手数料	1,925	880	1,045
雑費	104,830	145,960	△ 41,130
支払利息	2,008,999	2,008,998	1
支払利息	0	0	0
経常費用計	62,766,476	65,870,271	△ 3,103,795
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	146,786	146,786	0
一般正味財産期末残高	146,786	146,786	0
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	△ 5,851,238	△ 18,342,996	12,491,758
受取国庫補助金	△ 5,851,238	△ 18,342,996	12,491,758
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取配当金	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 5,851,238	△ 18,342,996	12,491,758
指定正味財産期首残高	18,028,170	36,371,166	△ 18,342,996
指定正味財産期末残高	12,176,932	18,028,170	△ 5,851,238
III 正味財産期末残高	12,323,718	18,174,956	△ 5,851,238

財産目録

2023年3月31日現在

公益財団法人 有隣会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金			運転資金	570,555
預金		普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	15,589,639
		普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金	15,920,819
売掛金			入館料等	284,080
商品			珈琲豆等	20,898
流動資産合計				32,385,991
(固定資産)				
基本財産	定期預金(基本財産)	定期預金 中国銀行倉敷駅前支店	公益目的保有財産で、運用益を 公益目的事業の財源として使用 している	3,000,000
その他固定資産	建物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示 等の事業施設に供している。	112,939,134
	建物附属設備	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示 等の事業施設に供している。	48,550,676
	構築物	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示 等の事業施設に供している。	4,837,645
	機械及び装置	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示 等の事業施設に供している。	484,544
	器具及び備品	語らい座 大原本邸	公益目的保有財産であり、展示 等の事業施設に供している。	10,866,593
	商標権		公益目的保有財産	469,840
	ソフトウェア		公益目的保有財産	15,120
固定資産合計				181,163,552
資産合計				213,549,543
(流動負債)				
	買掛金		公益目的事業を行うために必要 な諸経費に対する未払金	193,031
	預り金		源泉所得税、社会保険料等	132,794
流動負債合計				325,825
(固定負債)				
	長期借入金	個人より借入	記念館事業における設備投資の 為	200,900,000
固定負債合計				200,900,000
負債合計				201,225,825
正味財産				12,323,718

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物、建物附属設備、構築物は定額法によっている。

上記以外の有形固定資産は定率法によっている。

無形固定資産

定額法によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産	0	0	0	0
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充 当額)	(うち一般正味財産からの充 当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	0
合 計	3,000,000	3,000,000	0	0

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直説法により減価償却を行っている場合)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建物	146,674,199	33,735,065	112,939,134
建物附属設備	83,542,011	34,991,335	48,550,676
構築物	8,064,360	3,226,715	4,837,645
機械及び装置	4,918,320	4,433,776	484,544
器具及び備品	49,226,950	38,360,357	10,866,593
無形固定資産	4,957,280	4,472,320	484,960
合 計	297,383,120	119,219,568	178,163,552

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

該当なし。

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
国庫補助金	国	15,028,170	0	5,851,238	9,176,932	指定正味財産
補助金	公益社団法人会報販売 光コンベンション ビューロー	0	444,000	444,000	0	該当なし
事業復活支援金	経済産業省	0	600,000	600,000	0	該当なし
キャリア教育指導 者育成事業	倉敷市	699,600	699,600	1,399,200	0	該当なし
合計		15,727,770	1,743,600	8,294,438	9,176,932	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

記念館事業に対する国庫補助金のうち5,851,238円を一般正味財産に振替。

14. 関連当事者との取引の内容

属性	氏名	取引内容	勘定科目	取引金額	金利
評議員	大原謙一郎	資金の借入	長期借入金	200,900,000	元金の1%

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし。

16. 重要な後発事象

該当なし。

17. その他

財務諸表に対する注記に同様の記載があるため、計算書類の附属明細書の記載を省略している。